

しかし今後どういうふうに医療技術が変わってくるか、倫理というのをどういうふうに考えていくかという非常に難しい議論なんですけれども、これからはそういう議論をまじめにしなければいけないと思っています。アバターはそういう議論をなげかけている映画なのだろうと思います。

佐々木

人間の体にも、ないものを補おうとする働きが基本的にありますよね。目が見えないことによって、耳が非常に優れてきたりとか。障がいという意味にしても、私も精神的にどこか崩れていないとも言えませんが、みんなが障がいをもっていると言えんのではないのでしょうか。そういったことから、あまりこのテクノロジーで補っていかなければという発想もどうかと思います。

制作者側も、障がいの為というよりみんなと一緒に楽しみたい、色んな人の事を考えて色んな人の立場に立って物を作っていく事がおもしろいという所からスタートしています。そういう意識を喚起していくような運動でもあります。

感動いたしました。ありがとうございます。

森田

森田です。本当にそうですよね。一生懸命やりたいなどと言いましたけども、単に一人でこだわっているだけで、皆さんの事を本当に考えているかどうか分からないですね。ふと振り返って非常に考えさせられました。貴重なご意見をありがとうございます。

客・森

森と言います。視覚障がい者です。当事者の大河内先生がパネリストの中に入って頂いて、とても良かったと思います。西村さんが体言止めが多いと言われていました。私達は耳で聞くことに随分と慣れております。だから体言止めの方が、動いてるっていうことが非常によく分かり、自分と一緒に楽しめるんですね。だから私はハルと一緒にずっと昇っておりまして。とても素敵な映画でした。ありがとうございます。

私は今、NHKの文化センターでバリアフリー映画の副音声の講師もやっているのですが、その講座にお金を払ってたくさんの方が来て下さっています。参加された方が、障がいをもつ方はどんなふうに映画を楽しんでいるか、どういうふうに伝えたら、どんな字幕だったかもと分かってくれるだろうとか、すごく興味をもって世界が広まりましたと言ってくれています。

今回のような上映会が開催されることで、色んな方が別の方の立場に立ちながら、障がいをもつ方がどんな見方をされるかに気付いてもらえるということが、このバリアフリー映画の、また上映活動の意義なのではないかと思っています。

西村

基本的にそうですよね。健常者というか普通一般の方達に、そういったことがあるんだということを知って頂くことが、今回のような映画祭の一つの目的かもしれないですね。

ここで時間が来ましたが、どなたか質問がある方はいらっしゃいませんか？

森田

ありがとうございます。

西村

他にどなたかございませんか？

客

座ったままですみません。今日初めてバリアフリーの映画を見せて頂いて、佐々木さんの語りは、最初ラジオの野球中継のようなものをイメージしていて、映画に入ったら邪魔になるんじゃないかと思っていました。しかし、作品を見て、映画の画面と非常に調和していて全然違和感がなかったんですね。目からうろこということですかね、そんな感じをうけました。是非ともこれからこういう作品をどんどん作って頂ければありがたいと思います。ありがとうございます。

西村

それでは時間がまいりましたので、これでシンポジウムを終わりたいと思います。

客・武田

武田と申します。特に監督がおっしゃっていた、制作者の側から色んな事を提供していきたい、色んな努力をしていきたいといったビジョンをお持ちということにすごく感動いたしました。私たちにとって映画というのは、副音声ができる前はいわゆるイメージの世界だったのですが、副音声ができたことでリアリティをもちながら話に入っていくこと、あるいは共有することができるようになってきたと思います。より完成されたものを作りたいという思いは、私達にとって本当に嬉しいことなのですが、かなりアバウトなものであってもいいから、あまりタイムラグを生じないうちに見たいという側面もある訳です。いよいよ地上デジタルに移行する時期が近づいています。しかし、その中で私達が利用できるものはほんの数%しかありません。字幕はそうでもないが、音声がいわゆる副音声にするのにはかなりお金がかかるので、入れるのが難しいということが当たり前のように言われている。それが私達にはとても寂しいことです。でも、今日はとても

シンポジストの紹介

福岡資磨
元衆議院議員、議員時代より障がい福祉に力を入れ、現在はNPO法人佐賀県地域支援ネットワーク顧問、多方面で障害福祉の活動に取り組む。

大河内直之

東京大学先端科学技術研究センター在職、バリアフリー研究者。
佐々木亜希子
NHK(山形放送局)キャスターを経て、活動弁士として活躍中。白黒の無声映画の語りを初めとし、活弁を活かしたバリアフリー映画に10数本携わる。

森田宏幸

2002年公開、スタジオジブリ制作「猫の恩返し」監督。2008年度に同映画バリアフリー版の制作に参加。

西村雄一郎
映画評論家、司会進行。

主催

NPO法人全国地域生活支援ネットワーク
NPO法人佐賀県地域生活支援ネットワーク
平成21年度障害者保健福祉推進事業「障害者自立支援調査研究プロジェクト」
「バリアフリーによる新しい映画鑑賞の技術開発研究事業」

後援

佐賀県、佐賀県身体障害者団体連合会、
佐賀県視覚障害者団体連合会、佐賀県聴覚障害者協会、
佐賀県手をつなぐ育成会、
佐賀県肢体不自由児者父母の会連合会

開催日時 2010年2月13日(土)
会場 アバンセ(とんとんの森内)

当日プログラム

13:30 主催者あいさつ
13:35 14:45 「猫の恩返し」上映
活動弁士佐々木亜希子さんによる活弁ライブ
15:00 16:15
来賓あいさつ 佐賀県知事 古川康



製作日誌

北園賢剛(研究会委員長) 長沢義文(シグロ)
水流源彦(研究会事務局) 片桐公彦(研究会事務局)

『ニセれバリアフリー』制作日誌

副音声台本：玉井夕海
副音声演出：向井康介、玉井夕海
副音声担当：佐々木亜希子
日本語字幕制作：赤松立太(パッソパッソ)

2009年9月上旬

視覚障害者用副音声の台本と演出も前年度、T.H.M. C.O.R.O.も担当した玉井夕海さんに、聴覚障害者用日本語字幕の制作も、赤松さんに依頼。
必要な資料も皆さんに送り、いよいよ今年度の制作が始まる。

9月23日

玉井さん、佐々木さん、山添さん、そして山上さんが参加して、副音声打合せ。場所はシグロの事務所。冒頭から40分程が完成した第一稿をもとに、全体のイメージなども確認する。そして、副音声及び字幕の演出と監修も、ニセれの脚本である向井康介さんをお願いすることに。

8月上旬

玉井さんから副音声の第一稿が送られてくる。前後して字幕原稿も届く。

8月12日

山上さんから向井さんへ、出来上がった副音声の台本と字幕原稿も直接渡す。

8月27日

副音声収録まで5日前。シグロにて最終打合せ。も見える。

初対面になる向井さんとの挨拶を終え、早速、台本を詰める作業へ。向井さんより細かい指摘を受け、玉井さんからも疑問点が出、作品の雰囲気などのように伝えていくが自覚した議論がつづく。ニセれ造りの仲間の紹介シーンの見せ方や人物の心情などについては、実際に制作者が加えるからこゝで、議論の的になる。時折撮影時の秘話やニセれ話があったりしながらも、意見がまとまる。

副音声の打合せが終わると、赤松さんが合流して字幕の確認作業。字幕についても、設定と違う表現の指摘など細かい修正も受ける。後は、読者の見直しなども確認しながら、完成させていく。

9月1日

協映スシジオにて副音声の収録。玉井さん、佐々木さん、向井さん、山添さんと今までの全作品の整音もやっている山縣さんで収録開始。

脚本の向井さんに立ち会っていただけたのは心強く、時どきつまづいても、皆で話し合いながら、順調に収録も終えることができた。

9月2日

収録日の翌日、同じく協映スシジオ。副音声と映画のオリジナル音声とのバランスを整える作業も玉井さんと山縣さんで行い、副音声が上がった。

2010年1月31日

三友スシジオで、字幕の最終仕上げ。字幕も確認しながら通して見て、修正も加え字幕が完成する。ニセれ、ニセれのバリアフリー版が完成した。

『おくりびと』バリアフリー制作日誌

副音声台本：佐々木亜希子
副音声演出：大和田廣樹
副音声担当：佐々木亜希子
日本語字幕制作：赤松立太(パッソパッソ)

2009年8月

バリアフリーの制作に取りかかる。佐々木さんからの熱い希望を受けて、今回は副音声担当と本作成の2役を佐々木さんが担当することになった。偶然にも、『おくりびと』の舞台、山形県庄内地方は佐々木さんの故郷でもあった。字幕については、既に製作の松竹株式会社で作成されていたものを元に、今までの経験も組み込み形で制作が始まった。

8月31日

副音声台本の第一稿が佐々木さんから届いた。ニセれ滝田洋二郎監督に送り、確認していただく。

9月3日

滝田監督から、基本的には現状の感じで良く、ナレーションが大切であるから、感情を込めるところなど、ナレーションに気を遣ってほしいという内容の返事もいただいた。そして、副音声の演出に、大和田さんとも向かい、収録に向けての細かい修正が始まる。



9月6日

この日は、おくりびと、の公開1周年を記念して、都内の映画館で上映イベントが行われた。舞台挨拶に来ていた滝田監督にお会いするため、大和田さんとシゴのスタッフとともに参加し、副音声台本に対する感想も直接伺う。

9月15日

字幕の仮バージョンの試写も東京大学先端科学研習センター（以下、先端研）で行う。中野さん、赤松さん、大和田さんが出席。中野さんから、環境音や効果音の表現方法についてご意見をいただいた。

9月18日

副音声の収録まで約10日。佐々木さん、大和田さん、山添さんが参加し、シゴにて実際に映像を見ながらの読み合わせ作業。台本を読んでいるだけでは気が付かないところや、オリジナルの音と重なってしまうところなども指摘しあい修正していく。

9月29日

副音声の収録日。今回使用したスラジオは、アクティブ・シネクラブ。大河内さんにも立ち会っていた。また、時に話し合いも進めながら順調に進む。また、佐々木さんが講師を務めているNHK文化センター青山教室。あなたの声で、バリヤフリー映画を創ろう。副音声がイデに挑戦。の生徒さんも見学に来られた。収録も無事に終え、副音声の完成となる。

11月11日

聴覚障害者情報文化センターのご協力もいただき、字幕版のモニター試写も行う。研究委員からは赤松さん、飯泉さん、水流さんが参加。当事者の方や聴覚障害者情報文化センターの職員さんなど、約15名のみなさんに集まっていた。また、有難きな意見交換もすることができた。

12月16日

筑波技術大学で学生向けの試写も大杉豊先生の協力のもと行う。飯泉さんと水流さんが出席。2名ほかからアンケート方式で率直な意見をいただく。先端研、聴覚障害者情報文化センターそして筑波技術大学と3度の試写を重ね、おくりびと、だけではなく、今後の字幕制作においても活かせる経験ができた。ご参加いただいた皆さんには、改めて感謝申し上げます。

2010年1月24日

三友スラジオで、字幕の最終仕上げ。おくりびと、の副音声、字幕ともに完成する。

耳をすませば、バリヤフリー制作日誌

副音声台本：松田高加子（株式会社パンドラ）

副音声弁士：佐々木亜希子

日本語字幕制作：赤松立太（パソパソ）

監修：スタジオジブリ

2009年12月28日

11月頃より制作にとりかかっていた字幕原稿も赤松さんより届く。それと、監修のスラジオジブリに渡し、確認作業のやり取りが続く。

12月30日

年の瀬が押し迫る中、読み合わせも兼ねて副音声の打合せ。シゴにて、佐々木さん、山添さん、そして、今回副音声の台本作成をお願いした松田さんが参加。松田さんは視覚障害者の映画鑑賞環境を整える活動をしているボランティア団体に参加し、副音声作りの経験もたくさん持っている。

2010年1月10日

シゴにて副音声の読み合わせ。佐々木さん、松田さん、山添さん、スラジオジブリからは広報部の方が参加。事前にお送りしていた台本に対して、意見を擦り合わせながら進める。

1月20日

副音声スラジオ収録前の最後の打合せ。佐々木さんが講師を務めるNHK文化センター青山教室での授業があったため、そこに集まり最終確認を行った。参加したのは佐々木さん、松田さん、山添さん。

1月22日

副音声収録日。収録スラジオはアクティブ・シネクラブ。スラジオジブリの広報部の方に立ち会っていた。また、順調に収録できた。ではないかと思う。また、NHK文化センター青山教室の生徒さん達も来られ、とても熱心に見学されていた。

1月31日

三友スラジオ、字幕の仕上げ作業。この間修正を加えてまた字幕が二こで完成する。

これをもって今年度制作の3作品が完成となる。

アンケート調査概要

2009年10月から2010年2月までの期間で、全国各地(13カ所)にて、バリアフリー映画に関するアンケート調査を実施した。

1	上映日: 2009年10月3日 / 主催名: 小田原映画祭 / 作品名: 「くるりのこと」 / 形態: 副音声&字幕 / 入場者: 83名 / アンケート計: 53名
2	上映日: 2009年11月13日 / 主催名: 第9回全国障害者芸術文化祭しずおか / 作品名: 「くるりのこと」&「猫の恩返し」 / 形態: 副音声&字幕 / 入場者: 253名 / アンケート計: 59名
3	上映日: 2009年11月13日 / 主催名: 市川点訳朗読友の会 / 作品名: 「THE CODE」 / 形態: 副音声のみ / 入場者: 95名 / アンケート計: 14名
4	上映日: 2009年12月5日 / 主催名: チャレンジドネットいずみ / 作品名: 「猫の恩返し」 / 形態: 副音声&字幕 / 入場者: 114名 / アンケート計: 27名
5	上映日: 2009年12月6日 / 主催名: 新潟県地域生活支援ネットワーク / 作品名: 「おくりびと」 / 形態: 副音声&字幕 / 入場者: 約200名 / アンケート計: 101名
6	上映日: 2009年12月6日 / 主催名: はあとピアいずもバリアフリー映画祭 / 作品名: 「おくりびと」 / 形態: 副音声&字幕 / 入場者: 159名 / アンケート計: 131名
7	上映日: 2009年12月16日 / 主催名: ...ふらっとなかの / 作品名: 「ニセ札」 / 形態: 副音声&字幕 / アンケート計: 12名 ※試写扱い
8	上映日: 2010年1月17日 / 主催名: みんなで観て、楽しむ映画上映会 in 鹿児島 / 作品名: 「おくりびと」&「猫の恩返し」(活弁ライブ) / 形態: 副音声&字幕 / 入場者: 180名 / アンケート計: 80名
9	上映日: 2010年2月5日 / 主催名: アメニティネットワークフォーラム4 バリアフリー映画祭2010 / 作品名: 「くるりのこと」「おくりびと」「耳をすませば」「ニセ札」 / 形態: 副音声&字幕 / 入場者: 450名 / アンケート計: 80名
10	上映日: 2010年2月13日 / 主催名: ...みんなで観て、楽しむ映画上映会 in 佐賀 / 作品名: 「おくりびと」&「猫の恩返し」(活弁ライブ) / 形態: 副音声&字幕 / 入場者: 220名 / アンケート計: 76名

全体(485名)回収集計完了数

性別	1男	2女	3無回答	29
年齢	①11歳以下	②33歳以下	③30歳以上	44歳以上
④40歳以上	68	550歳以上	77	660歳以上
⑦70歳以上	99	8無回答	32	
	</			

視覚(27名)

性別	1男	2女	3無回答	8
年齢	119歳以下	220歳〜29歳	0	660歳〜69歳
440歳〜49歳	0	550歳〜59歳	6	660歳〜69歳
770歳以上	6			

Q 映画を鑑賞されたかがでしたか。

(1)日本語字幕について

- ①字幕がわかりやすい 2 ②字幕がわかりにくい 1 ③字幕の量が多く気になる 4
④その他 5 特になし 1

(2)(1)の回答について理由をお知らせください。

- ・字幕が大きすぎてみやすいでした。
・画面により字の色を変化させることを望む。

(3)副音声について

- ①副音声の量が多く気になる 1 ②副音声の量が多くなる 3
③副音声の量が多くなる 1 ④その他 5 特になし 1

Q 映画を鑑賞されたかがでしたか。

(1)日本語字幕について

- ①字幕がわかりやすい 4 ②字幕がわかりにくい 3
③字幕の量が多く気になる 5 ④その他 1 ⑤特になし 14

(2)(1)の回答について理由をお知らせください。

- ・小さい子供にはわかりにくかったようです。
・漢字が読めなかった。
・よみやすく書かれている。
・字が大きくてよくわかった。
・字が小さすぎてよくわかった。
・みやすい。記憶にのこりやすい。
・字幕が適当に書かれていて良かった。
・字が画面の邪魔をしていない気がしました。

(3)副音声について

- ①副音声の量が多く気になる 5 ②副音声の量が多くなる 1
③副音声の量が多くなる 4 ④その他 1 ⑤特になし 14

(4)(3)の回答について理由をお知らせください。

- ・通常の音声より、違和感がなかった。
・言葉がやさしく聞きやすかった。
・弁士の方の手助けは理解する大いに助けになりました。
・場面の説明も必要だが奥深い感情の表現も必要。
・声が高い、早口。

(5)その他ご鑑賞いただいていた点があれば教えてください。

- ・たいへんたのしかったです。
・利用者の方がたいへん楽しんでいました。目を閉じていても情景がうかんでくるわがやかったです。
・気付けず見過ごすことが副音声で理解することができた。
・もっと色々な映画に取組みがあれば良い。
・聴覚障害者の友人は洋画しか見ない(見れない)と言っていた。邦画も見たいと言っていた。
・すこいと思っ。
・大変に良かったです。
・感動しました。
・私達障害の有る人は理解がし易かった。
・解説がありよくわかりました。

(6)バリアフリー映画について期待することや意見などありましたら教えてください。

- ・身体、知的に障害があると何かと一般の映画館ホールに連れて行くことは、めったにないので大助かり。大人たちも大変。
・活弁でわかり易かった。
・今日までバリアフリー映画がある事も知らなかったけど、今日見せてもらってわかり易く面白く見られた。
・副音声で作品の価値がさらに上がると思う。

アンケート

障害(知的、身体、その他)(79名)

年齢	1	2	3	4	5	6	7
19歳以下	3	2	0	0	0	6	7
20歳〜29歳	9	2	3	0	0	6	7
30歳〜39歳	3	9	3	6	9	1	4
40歳〜49歳	1	0	5	5	9	1	4
50歳〜59歳	7	9	3	6	9	1	4
60歳〜69歳	1	0	5	5	9	1	4
70歳以上	3	2	0	0	0	6	7

- ・もっと増やすように願っています。
・もっとこういう風にたくさんさんの邦画が見られたらいい。

(5)その他ご鑑賞いただいていた点があれば教えてください。

- ・とても迫力がありリアルでした。
・映画内容の意味がつかめないところが多かった。
・よかった。
・内容が理解出来てよかったです。
・とても良かった。
・良好。
・初めてであり大変よかった。

(6)バリアフリー映画について期待することや意見などありましたら教えてください。

- ・もっと増やすように願っています。
・もっとこういう風にたくさんさんの邦画が見られたらいい。

・大変良かった。副音声なしで見たらもの足りなく感じるのでは。
・話題を呼んだ映画でなくても内容のある映画でも取り上げてほしい。
・すべての人がたのしめるようになってほしい。社会参加に必要。

一般の人たちの声(348名)
■性別
■年齢

①19歳以下 27 ②20歳〜29歳 15
③30歳〜39歳 40
④40歳〜49歳 56 ⑤50歳〜59歳 24
⑥60歳〜69歳 64
⑦70歳以上 51 ⑧60歳〜69歳 65

Q 映画を鑑賞されていかがでしたか。

(1) 日本語字幕について

①字幕がわかりやすい 262 ②字幕がわかりにくい 2
③字幕の量が多く気になる 9 ④その他 10 ⑤特になし 46

(2) (1)の回答について理由をお知らせください。

・映像のスピードともあって、細かいところも分かった。
・登場人物の心情や行動が、誰にでも理解しやすいと思う。
・読みやすく、特に邪魔とは感じなかった。
・洋画で慣れている。
・映画の理解度が上がるので良いと思います。
・音効果音について表現が豊かでわかりやすかった。字幕の場所も工夫されていた。
・簡潔で分かりやすかった。
・聞き逃した時、読めば分かる。
・外国映画でも見慣れている。
・方言がある場合、字幕があるとわかりやすい。聴覚の方には是非必要と思う。
・セリフと重なりつい見えてしまう。
・字幕が少し大きく感じました。
・「猫」は気にならなかったけど、「おくりびと」は気になった。
・音が少し高かった。聴きづらかった。
・とても観やすかった。
・字が読めない人も思うので、手話のとおりいれなどあればと思った。
・活弁士や字幕や映画や音楽が同時進行なので、どれに焦点をあてればいいのかわからなくなる。
・もう少し大きい方がよい。
・テレビで慣れている。
・聞き逃した時に字幕があつて良かったです。
・新しいやり方でも良かった。
・字が大きくて良い。
・余分なことばがない。
・文字放送を見たことではないが、こんな感じかなと思った。自分は聴こえるので、耳からの情報だけではなく、目からも情報がありより理解が深まった。
・字が太くはつきり見える。
・聞き取れなかったセリフも字幕で分かった。
・洋画の字幕と変わらない印象。
・登場人物によって、字幕の色を変えたらどうでしょう…セリフは下、状況は横と分かれていて良かった。

・高音が気になった。
・視覚障害者には嬉しい事です。音声が付いてなければ理解出来ません。
・次におこることを先に言われるのが気になりました。
・ちょっと説明しすぎかな。
・良くわかって良かった。
・もう少し静かに見たかった。
・声ももう少しやわらかいとよい。
・副音声によって理解できる場面が多かった。
・聞きやすい。
・最初は少々うるさいかなと思ったが、目を閉じて聴いてみたら、想像出来る体験をする
・ことが出来た。
・映像より先に副音声で分かっているのが残念。
・様子がわかりやすかった。
・視覚障害の方は細かい説明がありわかりやすいと思う。
・見ながら副音をきいていると、想像できなくなる。
・日頃身近にないので情報が多すぎるように感じます。
・目でも見てたときは、セリフと状況説明と情報量がすごく多いと感じた。目を閉じて
・観た時、それらが全て必要不可欠なものとなった。
・バックの音や効果がきえてしまう。
・目を閉じると状況が分かりやすく、イメージがしやすいが、観ながらでは声が気になり
・入りにめない。
・自分では気付かなかつたことの説明を副音声で知ること出来た。
・自分でイメージする醍醐味が薄れてしまう。
・静かに浸りたいときに副音声が入ってくるのが気になりました。イヤホンなどで
・choiceできるような方式があるといいなあとひしひしと感じました。が、以下の
・ような事を考えたので、私にとっては「おもしろい経験をもらいました。副音を聞く
・ことで、副音声にとりあげられない。視覚的情報が一層際だってみえたことが発見で
・した。画面のすみずみまで緻密につくりあげられていることに大変感動しました。映画
・のすばらしいさを再発見しました。副音をきくことで、ひとつの映画を「同じ」にみる
・(感じる)のではなく、ひとりひとりの心の中で、ちがう映画がうまれるのだなという
・あたりまえのことに感じました。
・演出の前に副音声によって「ネタバレ」してしまう点があるので、健常者が楽しむこと
・ができないと思った。ナレーションの内容が知りたいは悪くないと思う。
・口調が堅く、早口で少し冷たい気がした。
・声のトーンがよかったのかな。
・活弁士の方が上手で副音声自体が楽しめる。
・健常者にとっては少しわずらわしく感じられる。
・自分の思いとは異なる言葉が流れてくるので気になる。
・健常者には気になるが、視覚障害者にはまだ情報不足なのでは。
・声がキレイでした。
・ナレーションがちょっとおもしろい。
・わかりやすい。子供も見易い。
・耳はよく聴こえるので、少なくとも私には不要で、説明口調なのが気になりました。
・でも、リアフリーという観点では、是非必要な事なのではないか。
・障害はありませんが、副音声が聞こえてくる状況説明で、気付くこともあり役に立ちました。
・意外と気にならない。なるほどと思う描写もあった。
・イヤホンで副音を聞きたい人と、必要でない人と選べた方がよい。
・副音声の音量が大きい。必要でない物事も入れすぎ。

・難しい。雰囲気、細かい表現がどこまで字幕等で伝えられるのか想像しにくい。
・普段洋画を見る時と同じような感覚で見れた。
・映画がおもしろいため、字幕があつても気にならない。
・水の音の字幕等もあり、とてもわかりやすかった。
・字幕の量が丁度良く読みやすかった。
・画面に文字が多いので読みとるのに必死となった。
・くわしく字幕がでていて良かった。
・目は不自由ではありませんが、最近、テロップ入りの画面を見つけているので、あつた
・方がわかりやすい。
・画面の大きさから比率がよかった。
・外国映画と同じで気にならない。
・もう少し大きく、もう少し長くあるとよい。
・もう少し大きく、もう少し長くあるとよい。
・わかりやすかったが、つい読んでしまうので、演技がよくみえない。感じられないかも。
・大きな字でわかりやすかった。はやさもちょうどよかった。
・とても見やすく良かった。

(3) 副音声について

①副音声の量がわかりやすい 210 ②副音声の量がわかりにくい 7
③副音声の量が多く気になる 62 ④その他 12 ⑤特になし 28

(4) (3)の回答について理由をお知らせください。

・映画の二つ三つの行動・感動しているものがわかりやすかった。
・目だけでなく、耳でも聞けて、より内容がわかりやすかった。
・場面の動きの説明のタイミングが良く、目が見えない方にもわかりやすいと思う。
・副音声の後に、その演技や映像があるので不思議な感じがした。
・内容が理解しやすくて、また感情を込めたり、スピードが変化することで、映画に入り込
・みやすい。
・最初は戸惑いましたが、活弁士さんの声がうまく切り替わっていて、わかりやすかったです。
・ラジオドラマを聴いている感じ。
・バリフリーでも必要な人だけでよいのでは？
・感じる前に、副音声が入ってしまう。
・思ったより違和感がなかった。
・描写がよくわかった。
・音が気になり、映画が楽しめない。
・健常者にも効果的だと思いました。
・主人公の心情も含めたところもあったので分かりやすかった。ただ、セリフと効果音
・副音声の重なりと若干聞きづらかった。
・イメージが増大した。
・視覚障害の方にはわかりやすいと思ったし、その時の気持ちの動きや様子が分かり良いと思う。
・普通にみたら気づかなかつたこと(勘定など)がわかった。
・画面がかわる前に副音声が入ってしまっていた。
・BGMが大きい。
・初めて映画を見ましたが、障害者のため努力されていることに感謝します。
・活弁士のナレーションとても良かった。初めて副音声映画観ましたが、一般の者も
・楽しめました。
・健常者であつて、目を閉じて聞いていたが、言葉が多くわりもう少し少なく。
・生ライブだったので、副音声が大きかった。

(5) その他ご鑑賞いただいて気づいた点があれば教えてください。

・これから、こういう機会がもっと増えればいいと思います。
・不自由な人でも映画を楽しめてよいと思った。
・はじめはバリフリー映画をみて、こういう取り組みもあるのだと感心した。
・健常者には情報量が多いように感じますが、目を閉じて、または耳をふさいでも十分に
・映画を楽しめました。このように、たくさんの方の映画を、たくさんの方が観れば素晴らしい
・と思います。
・はじめは驚いたところもあったが、とても楽しかったです。
・字幕、副音声のために映画に集中できないかと思いましたが、そんなことはなく、
・よかったです。
・いいことですが、障害別のほうが気楽なのでは？
・倍つかれた感じ。
・考え感じる映画には、副音声が必要になる。
・音声はイヤホンで希望者にのみされるのがいいと思います。
・副音声によって更に感動深くなりました。
・ライブでのナレーション、感情がこもっていてとても良かった。
・障害がなくても観やすくよかったです。
・難しい場面が小学生の私にもよくわかりました。
・今手話を勉強中です。私達はまだに普通のこと(みる、聞く等)を当然と思い感謝する
・ことを忘れていていると思います。もっともっと私達にできることはないか、一人一人がも
・う少し知るの自覚をもてれば社会はもっといいものになると思います。
・映像・音楽・語りがそろわなければなかなか本場の意味を伝えることは困難だと思いま
・す。それをどのように少しずつ解決していくか問題ですね。
・「おくりびと」は少々副音が多すぎたように。
・私の子供は知的障害者ですが、テレビは毎日見ているのですが、どれだけ理解しているかわ
・かりませんが、よく笑って見ているので、よしとしています。
・絵本の読み聞かせの様でした。副音に主人公が答える様なセリフ(?)はとてもよかったです。
・こういう映画鑑賞の仕方もあるんですね。息子(知的障害者)もこの弁士の方の手助けで随
・分理解する助けになったようです。これからもこういう方法で鑑賞できたらと思います。
・初めてですが、良かったです。
・ろうあ者、難聴者、高齢者にとっては、安心して見ることが出来る。
・障害者に配慮された、すばらしい企画だったと思います。
・音声はやはり多く感じました。
・副音声の音が大きく、感情移入が出来にくいシーンがあった。
・副音声用のイヤホン等使ったら全員が色々な方法で楽しめると思う。
・とてもわかりやすかったです。
・初めてバリフリーの映画を見ました。副音声に違和感があるのでは？と思っていま
・したが、全くなくすばしかったです。
・感激しました。内容が分かりやすかったです。
・非常に理解出来てよいと思う。
・意図がよくわかった。
・健常者にも分かりやすい。
・ふつうの映画とは違う感覚で楽しめた。目や耳が聞こえない人には、これがスタンダー
・トになるんだと思った。
・正直難しかったです。

・日本でのバリアフリー映画は発展途上の事。私達同様映画館で映画鑑賞ができる事はすばらしいと思います。1つの映画をバリアフリーで、日本語版で吹き替えなしで等、この本人の希望で選択して鑑賞できるようになれば良いと思います、なぜなら映画鑑賞の見方は自由で、本人なりに鑑賞できれば良いと思うからです。

・バリアフリーという言葉がこうした映画にも用いられるということ、そして今後も普通に前面にした取り組みをされていく姿勢に喜びと拍手をおくりたい。

・途中、副音声と字幕とで全てで見ようとして一瞬わからなくなったことがあった。私は全てを駆使して見ることで、不便を感じてしまうことがあるんだなと思ったけど、視覚だけ、聴覚だけという人たちはその感覚で楽しむことができるのだなと思いました。普段余り考えない障害者のことが少し気をつけようと思うようになった。特に聴覚障害者は普段から外見からわからないだけに、第三者に誤解を受けることが多いだろうと思ってる。自分もいつその立場になるかわからないので。

・内容には引き付けられた。
・初めて見ました。慣れるまでに少し時間がかかりましたが、目や耳の不自由な方と一緒に楽しめるなら良いと思います。
・細かいところまで副音声で説明されていたので、すごいなと感じた。
・障害者でも映画を楽しむことができる事はすばらしい事です。
・このような形式の映画をみたのは、はじめてでしたが6才のまこにはとても気に入ったようです。理解しやすいようでした。またこのような機会があればぜひ参加させていたきたいと思っています。

・バリアフリーという言葉の意味を改めて考えてみたいと思います。
・私は今の所障害もなく、普通に映像を楽しんでいるので、目で見えている状況を副音声で教えてくれる今回のバリアフリー映画は、初めての経験で、シヨキング、だったあたり前だと思ってる事が改めて恵まれてるものだと感じた。
・特にバリアフリー映画とは感じませんでした。
・バリアフリー映画をはじめてみた。普通の映画だと思って来たので慣れなかった。とてもよかった。毎日を感謝して生きていきたいと思いました。
・初めての体験したので分かりません。
・普通の健常者にもやさしいと思いました。テンポがいい。
・ニーズはある苦なのに、鑑賞する人が少なく驚きました。
・普段、目からの情報に頼っている事が多かった。
・せっかくの機会、もっと多勢の方に見ていただきたいかったですね。
・ナレーション風に説明されているので、自分の感じ方が消されてしまうかな。
・初めての鑑賞で子供も喜んでいました。

(6) バリアフリー映画について期待することや意見などありましたら教えてください。

・バリアフリー作品をもっと増やしてほしい。
・観たい人の希望に、どんどん応えられたらいいと思う。
・会場のバリアフリーも含めて、バリアフリー映画鑑賞の機会が増えるといいと思う。
・技術革新が期待される。
・「60歳のラブレター」も観たいです。
・私は映画を観ることが大好きです。この楽しさを、障害のあるなしにかかわらず体験できたら嬉しいことです。しかし、字幕や副音声のための経費や手間のことを考慮すると大変だと思います。文化に対する予算がつかわれるといいですね。
・こんなに自然な感じで鑑賞できるのであれば、もっと作品が増えればいいと思います。
・バリアフリー化したほうが、身近に感じられた。
・すべての映画にこういうサービスができるとういと思っています。

・これだけの内容だったら、もっと多くの人に見てほしい。一般の健常者にも、もっと知ってほしい。

・視覚障害の夫と子どもたちが共通に楽しめてよかったです。
・ハバと観ることができてたのしかった。

・ろう者がジブリの「天空の城ラピュタ」を知らなかったため、ジブリも「猫の恩返し」の活弁ライブでの映画は初めてでしたが、目の不自由な方々へはいいアイデア、取組みだと思います。私は知的障害の息子(自閉症/26才)をつれて見にきました。あまり映画は集中してみない息子ですが、少しは見えていました。
・映画鑑賞を希望する方々が、参加できる映画づくりをお願いします。今日映画で健常者と思ってる私も通和感なく鑑賞することが出来たので、広げて下さい。
・どんな障害があってもみんな楽しんで鑑賞する映画がたくさんできたらいいと思います。年令と共に目、耳も不自由になりますが、字も大きく良かったです。
・これからこういう映画があってもよいです。
・場所もバリアフリーであれば。
・誰でも鑑賞することが出来る良いことだと思います。
・又見たいと思います。
・続けてほしい。
・情報量が多すぎる。障害の状態に応じて選択できるとよいと思う。
・映像の補足説明としては十分だと思った。
・副音声は必要な人に流れるとかがいいと思う。
・風景場面の副音声は難しいと思う。

・今は目、耳にも障害がない状態なので、字幕や副音声は邪魔に感じるが、将来目や耳が痛んで来たらありがたみを感じるかもしれません。
・今後継続してほしいです。各地域でも、やってほしいです。
・一般でバリアフリー映画が上映されると良いですね。
・誰もが「一緒に」の必要あるの？誰もが同じように楽しめるのでよいのでは？
・副音声はイヤホンとかにする方が良いと思った。ポリウムが大きいので映画の音声(キャストの音)と区別が付きにくい。
・字幕と副音声が入った映画をきちんとみるのが、はじめてでしたが、障害のある方にとっては分かりやすくできているのではないかと思います。
・洋画もできたら良いですね。
・会話が多い映画の方が、副音声の効果があると思う。
・副音声が必要ない人になつたので、障害の有無にかかわらずすべての人が同時に楽しむにはまた改善すべき点があると思う。
・今後も発展し、一般的になってほしい。いろいろな障害のことを考える、感じるきっかけ、素材になるから。

・バリアフリー映画という言葉を今日始めて知りました。とても自然にみる事ができずばらしいです。
・聴覚障害でも文字より手話の方が分かる人もいるので、字幕、手話など選べるより楽しめるのは。
・健常者と障害者が一緒になって見られるところが非常に良い。
・障害者にとつてさらに鑑賞しやすいものに。
・このような機会が数多くあり、多くの人が映画を観ることが出来る場を今後もつくって下さい。

・低料金にして「マイナス」にならない程度の設定にして上演して欲しい、年に何回か、必要な方の為に、今後も頑張ってください。私もいつか本当に必要になるかもしれませんので…。

筑波技術大学バリアフリー試写会アンケート集計

2009年12月16日(水)、国立大学法人筑波技術大学障害者高等教育研究支援センター 大杉豊先生にご協力いただき、「聴覚障害文化論」の授業の場で聴覚障害の学生さんに対して、字幕に特化したアンケートを実施した。上映作品は「おくりびと」。

全体(24名)					
■性別	①男 13	②女 11			
■年齢	①19歳以下 2	②20～29歳 23	③30～39歳 4	④40～49歳 1	
	⑤50～59歳 6	⑥60～69歳 7	⑦70歳以上 1		
■聴覚障害と診断された時期	①0～5歳 24	②6～10歳 3	③11～20歳 4	④21歳以上 2	
■障害者手帳の等級(聴覚障害の程度)	①1級(40～70dB) 2	②4級(80dB) 3	③3級(90dB) 3		
④2級(100dB以上) 1	⑤手帳を持っていない 1				
■ろう学校に通った経験	①あり 16	②なし 8			

■映画「おくりびと」の字幕についてお聞きします

1 登場人物の会話の字幕について

(1) 一画面中の字幕の文字の量はどうか？

- ①多くて読み切れなかった ②多くて読みづらかった ③ちょうどよい ④案に読めた ⑤もっと多くても読める

(2) 字幕の枚数はどうでしょう

- ①多すぎる ②やや多すぎる ③ちょうどよい ④少なすぎる ⑤もっと多くてよい

(3) 字幕が出て消えるまでの時間はどうか？

- ①非常に速い (一部) ②やや速い ③ちょうどよい ④やや遅い ⑤非常に遅い

(4) 字幕の日本語表現はどうか？

- ①大変わかりやすい ②ややわかりやすい ③ふつう ④ややわかりにくい ⑤大変わかりにくい

(5) 字幕を見て、登場人物の誰がしゃべっているのか、判断しやすかったですか？

- ①大変わかりやすい ②ややわかりやすい ③ふつう ④ややわかりにくい ⑤大変わかりにくい

(6) (文字を知らないため、あるいは表示タイミングの問題などで)読めなかった漢字はどのくらいありましたか？

- ①たくさんあった ②少しあった ③あまりなかった ④まったくなかった ⑤

2

(7) 漢字にルビをふることについて、どう思いますか？

- ①あった方がよい ②難しい漢字のみ ③どちらでもかまわない

- ④ない方がよい ⑤

(8) 字幕が出てくる位置はどうかでしたか？

- ①適切である ②不適切である ③どちらとも言えない ④

- ⑤文字の大きさはいかがでしたか？ ⑥

- ⑦大き過ぎる ⑧やや大きい ⑨ちょうどよい ⑩やや小さい ⑪

- ⑫字幕の内容について、特にわかりやすかったセリフやわかりにくかったセリフで、覚えていたものがあれば教えてください。また、その理由についても教えてください。

- ・一番最初の「アレが」。「ついでるんです」。「がインパクト大」。

- ・僕が子供の頃に感じた冬はこんなに寒くなかった。思えば「など」。

- ・誰が言っているのか、名前がついてくる。

- ・見慣れているので分かりやすい。

- ・わかりにくかったセリフ

- ・画面外のセリフ。色分けした方がよい。

- (1) セリフの字幕について、こうしてほしいことがあれば教えてください。

- ・テレビでは時々人物の顔に字幕が被ったりして見にくかったりするけど、今回のほと

- ても配置が良くて楽しめました。

- ・色分け。人物ごとに。

- ・全部真ん中の下に位置してほしい。

- ・音楽など音関係だけ色をグレーにするなど。

2

映画の中の環境音の説明について

- (1) 環境音や効果音の説明する字幕の量はどうか？

- ①非常に多い ②やや多い ③ちょうどよい ④やや少ない ⑤非常に少ない

- (2) 字幕によって「音」のイメージを広げることができましたか？

- ①大変できた ②まあまあできた ③あまりできなかった ④全くできなかった ⑤

映画音楽の説明について

(1) 音楽について説明する字幕の量はいかがでしたか？

- ① 非常に多い 6 ② やや多い 4 ③ ちょうどよい 10 ④ やや少ない 1
⑤ 非常に少ない

※ 音楽をきく人にとっては多く感じられ、きかない人にとっては分かりやすい

(2) 字幕によって、映画の中で流れている音楽のイメージをつかむことができましたか？

- ① 大変できた 6 ② まあまあできた 12 ③ あまりできなかった 3
④ 全くできなかった 1 ※ 感情が分からない

(3) 音楽を説明した字幕は、映画の鑑賞に役立ちましたか？

- ① 大変役立った 9 ② 少し役立った 11 ③ あまり役立たなかった 1
④ 全く役立たなかった 2

(4) 音楽を説明した字幕は、ストーリーの理解に役立ちましたか？

- ① 大変役立ちやすくなった 5 ② まあまあ役立ちやすくなった 14
③ あまり役立ちやすくなった 1 ④ 全く役立ちやすくなった 1

(5) 音楽を説明した字幕によって、映画の中の登場人物の心情が伝わりやすくなりましたか？

- ① 大変伝わりやすくなった 10 ② まあまあ伝わりやすくなった 12
③ あまり伝わりやすくなった 4 ④ 全く伝わりやすくなった 1

(6) 字幕が出てくる位置はいかがでしたか？

- ① 適切である 15 ② 不適切である 1 ③ どちらとも言えない 6
※ 「音楽はタテ」それがよかった。

(7) 音楽を説明する字幕はあった方がよいですか？

- ① あった方がよい 13 ② ない方がよい 3
③ どちらとも言えない (説明文章は短い方がよい)

(8) 音楽を説明する字幕で、特にわかりやすかった説明やわかりにくかった説明について、覚えているものがあれば教えてください。また、その理由についても教えてください。

わかりやすかった説明

・きりかえ(音楽の)

・「グノー、アヴェ・マリア」というような、音楽の説明は良かった。

・さわめき

・かなしげく、静かに、etc

・音楽は美しい言葉

・チェロで主人公が過去に想いをはせているシーンとか？

・曲の名前があり、この曲をやっているのかと分かる。

・音楽が心情に合わせて高まる、止む」ことがよくわかる。

・音楽の説明全部

わかりにくかった説明

・人は話している(字幕)と同時に、音楽の説明が表れるという所は分かりにくかった。

・というより、読み取れなかった。

・音楽のレパートリーの種類がよくわからなかった。

・チェロの演奏の間の説明など

・文章が長い程、映画の雰囲気がかわるかも。

(9) 音楽を説明する字幕について、このようにしてほしいということがあれば何でも教えてください。

・音楽の終わりと表示はいい、セリフとかぶると困る。

・耳が聴こえない為、音楽についてはこだわらないことから、「チェロからピアノに切り替わる音」というような詳しい説明はいいなと思う。

・歌詞も表示して欲しいと思いました。合唱のシーンなど。

・文字はもう少し控えて、出演者とかぶらないようにすれば良いかと思う。

・必要ないと思う。

・いい音楽

・人によるが、音の字幕が出ると感情的にひたっているのが少しこわれてしまうときがあると思う(雰囲気など)。

・どんなふうに流れているかを表せば分かりやすくなる。

その他、鑑賞された映画の字幕について、ご意見がありましたらご自由にお書きください。

・人物の気持ちに合わせて、音楽の字幕を付けたのは心情が伝わりやすくなった。

・大きさを少し小さくすれば邪魔に感じることがなくなると思った。

・2人の会話がある場面お互いの人物の下のセリフが表示されていたので分かりやすかった。

・音楽表現に関しては必要ないと感じた。

・音楽を流すとき、どんな音楽を流しているか字幕は不要だと思う。

・セリフ↓人物ごとに色分け。

・音楽・効果音↓要らないと思います。画面の方が大事だと思いますので…

・細かい字幕表現があつて良かったです。

・音楽について、話の雰囲気が分かりやすくなったのが良かったです。

・日本映画は字幕のあるものが少なく、「おくりびと」も字幕がないということで観る機会がなかったが、今回のように日本語字幕つきで邦画を見たのが良かったです。あと観る直前まで「おくりびと」の映画だと思っていました。これも字幕つきで観てみたいです。

・「おくりびと」の映画はすごいです。彼は色々な勉強をよく学ぶことができています。色は、白い字幕が光っていると見ることができました。

・最近3年前くらいから、邦画を見るようになり、今回は特にそう感じました。そういう見る方がかなり良い位置にあることが多いし、今回は特にそう感じました。そういう機会を頂けて本当にありがたいです。

・色をつく文字を試してみたいです。

・音楽の合図の字幕とセリフの字幕が同時にでるのはあまり良くない。どっちを見ればよいかわからなくちゃと混乱してしまう。

・話す時の字幕と説明の字幕が同じ位置だったらどうなるか、気になります。もしあつたら見せてくれた字幕と見比べてみたかったです。

・鑑賞したのが2回目なので、より心情の変化を効果音によって表したり、内容の流れがつかみやすかった。字幕が良かったのかまだわかりません。

・字幕の大きさを改めて感じさせられました。もっと邦画に字幕の普及を改めてほしいと思います。

・表示のタイミングは良かったです。

・シンプルが一番ですね！メインは映画ですから情報は分かりやすく。

・音楽の説明付の字幕は初めて見たので、慣れないという部分もあった。けど、あつてこそ意味もより深くつかめたので良かったです。

2010年1月25日 東京の汐留にて、バリアフリー版「おくりびと」完成記念試写会を開催。
当日は、滝田洋二郎監督にもおいでいただき、佐々木亜希子さんによる活弁ライブにて上映。
その際、おいでいただいた方からの声。

字幕 良かった点

・よみやすい字幕の型でした。(女性/40代/発達障害)
・字が大きい見やすい。(女性/70代/聴覚障害)
・文字が読みやすくて良かった。(女性/20代/聴覚障害)
・色々音とかの情報も会ったので。(男性/40代/聴覚障害)
・場所が下に統一されていて程よい大きさでほどよい幅だった。(男性/40代/聴覚障害)
・セリフだけでなく情景がよりわかるのでよかった。(女性/40代/聴覚障害)
・見やすい位置に表示されていた。(40代/聴覚障害)
・特に話している人の近くにセリフが表示された点。(男性/40代/聴覚障害)
・状況説明が普段より多くて分かりやすかった。(男性/40代/聴覚障害)
・字幕内容も量も良いと思った。(女性/60代/聴覚障害)
・その時の状況など、伝えてくれる字幕があると分かりやすい。例：「強い風が吹いているなど」(女性/19歳以下/聴覚障害)
・音の説明は良かった。あえて言えば「サザザッ」(波の音)など音もあると嬉しい。(女性/30代/聴覚障害)
・前回バージョンよりよくなりました。(男性/50代/聴覚障害)
・話者と字幕の位置が合っていたと思う。(男性/40代/ナシ)
・聞き取りにくい時はありがたかった。(女性/40代/ナシ)
・字の太さ、大きさ、書体とも読みやすくてよかった。(女性/40代/ナシ)
・ほとんどのセリフがそのまま字幕になっているし、タイミングも合っていてなまりもわりやすく良かった。(女性/20代/ナシ)
・障害がないので聞いていた。ただ字幕で画面が見づらいということはない。(男性/40代/ナシ)
・音についても字をつけていたから。(女性/30代/ナシ)
・多いと思う部分もありましたが、全体的に良くわかる字幕だった。(男性/50代/ナシ)
・ハッキリして見やすい。(男性/60代/ナシ)
・いつもの映画よりわかりやすい。(女性/60代/ナシ)
・俳優の音声に対し、字幕がついていたのでわかりやすかった。(女性/40代/ナシ)
・良かった。(男性/40代/ナシ)
・漢字など、音で聞いているだけでは分かりにくいものも分かりやすかった。台詞と合っていた。ト書きや風景の様子も分かりやすかった。(女性/30代/ナシ)
・簡潔で適切であったと思う。(男性/30代/ナシ)
・字幕 気になった点
・私の場合、ハンディがあっても音がよく聴こえるので画面が見にくくなるので量的に多く気になった。(女性/40代/てんかん/うつ)
・わかりやすかったが、始まる前の字幕がちよと早かったので、少し遅くても良かったかなあと思います。(女性/20代/聴覚障害)
・会話のところはまったく問題ないと思う。
・音のところ、説明文が長過ぎると思った。何の音かの説明だけで、どんな風かは(電車、風など)映像でわかるのでは？(男性/20代/聴覚障害)

字幕 気になった点

・私の場合、ハンディがあっても音がよく聴こえるので画面が見にくくなるので量的に多く気になった。(女性/40代/てんかん/うつ)
・わかりやすかったが、始まる前の字幕がちよと早かったので、少し遅くても良かったかなあと思います。(女性/20代/聴覚障害)
・会話のところはまったく問題ないと思う。
・音のところ、説明文が長過ぎると思った。何の音かの説明だけで、どんな風かは(電車、風など)映像でわかるのでは？(男性/20代/聴覚障害)

副音声 良かった点

・始めから自然な感じで大変わかりやすかった。(男性/50代/視覚障害)
・語りが滑らかで、自然な感じが良かった。(男性/40代/ナシ)
・心情がとてもわかりやすかった。(女性/20代/ナシ)
・聞いていた部分と聞くことがない(意識しない)部分があった。(男性/40代/ナシ)
・はつきりと程よい抑揚で自然に耳に入ってきた。(女性/40代/ナシ)
・情景についてもきちんと説明されているし、台詞の邪魔になることも少なく、細かい説明もあつてわかりやすかった。(女性/20代/ナシ)
・声の調子が変化あり、場の状況をより感じることができた。(女性/30代/ナシ)
・(気になるが見えない人にとっては良い量だと思う。(女性/50代/ナシ)
・最後にはきこえなくなりました。(男性/50代/ナシ)
・山の名前までわかる。(女性/40代/ナシ)
・動作や心情も音声化されていた。(女性/40代/ナシ)
・大変わかりやすかった。(男性/40代/ナシ)
・視覚障害者にとってこのくらい丁寧な副音声があれば、イメージを膨らませやすい。(男性/60代/ナシ)
・音量が少し大きいような気がする。映画の静かさ(良い意味で)が分からない(伝わらない)のでは？(女性/30代/ナシ)
・登場人物の気持ちやよみと助けになりました。ライブ感も良いです。(女性/40代/ナシ)
・声がキレイ。特に自然な情景の描写が良かった。言い間違えと目立つので大変ですね、でもそれも含めて手作り感やあたたかさを感じた。(男性/30代/ナシ)
・副音声 気になった点
・オーケストラのオーナーの台詞の前、オーナー一言がいらぬ音とかの所に説明がきているのを後にしてほしい。感動が薄れる。
・サケの通上と死が交錯するはいい。こちらで受けとて考えたい。
・父が小石を握っている場面、そこで「石文」を説明してほしくない。
・自身がろう者のせいもある。全部開けたら良かった。(女性/60代/聴覚障害)

副音声 気になった点

・オーケストラのオーナーの台詞の前、オーナー一言がいらぬ音とかの所に説明がきているのを後にしてほしい。感動が薄れる。
・サケの通上と死が交錯するはいい。こちらで受けとて考えたい。
・父が小石を握っている場面、そこで「石文」を説明してほしくない。
・自身がろう者のせいもある。全部開けたら良かった。(女性/60代/聴覚障害)

・ラジオドラマになりすぎている。そうではなく新鮮に感動したい。
・たくさんあります。感動がうまれるような押しつけの説明が多い。こちらが考えたい情報がいりません。感動したい。場面の後に来るはずの情報に先に来るのは感動できない。(男性/50代/視覚障害)
・音楽の高低など何らかの記号で表せたいかと思つた。実際やってみると邪魔なのかもしれない。でも何か聴者の胸に響くものがあれば…。(男性/20代/聴覚障害)
・聴覚障害がありますが、少し聴こえます。ずっと副音声があると自分で情景を考える時間がなく、聞き耳を立ててばかりになることになりました。ですが目の不自由な人からするとこの手法は、声色も伝わってくるのでより映画を楽しむ手法だろうなと思ひました。(女性/40代/聴覚障害)
・中途失聴で音はよく聴こえますが、言葉は何を言っているのか分からない。何を言っているのか気になりました。(女性/40代/聴覚障害)
・(わかりやすいが)慣れていないので、映画に集中しにくい。(女性/40代/ナシ)
・初めて見た。映像の解釈の仕方を決められたように感じるところもあった。(30代/ナシ)
・場面より先に解説しないよう、工夫してほしい。難聴の方にもガイドが分かるようにできるものでしょうか。オープンだと音だけ雑音になり、内容がわからないのももったいない。(女性/30代/ナシ)
・決して邪魔をするほどではないが、健常者としては少々気になる。(男性/50代/ナシ)

活動弁士がその場で副音声を読み上げていく手法について

・画面の進行にそつた活弁で内容がよくわかった。(男性/60代/肢体障害)
・映画の音がききづらくなつたり、映画の内容を想像することができないので、ナレーションはいらないと思つた。(女性/40代/てんかん/うつ)
・素晴らしい！(男性/60代/視覚障害)
・自分が本を読んでいるような気分。(女性/40代/発達障害)
・素晴らしい！(男性/30代/視覚障害)
・大変よかった。(女性/30代/聴覚障害)
・良かった。臨場感がある。(男性/20代/視覚障害)
・残念ながらどのような話し方をされているのか聴こえなくてわからなかったが、どういう風に読み上げているのか知れた。台本など配ってもらえたら聴こえない人にもなるほど、と思えたかも。(女性/30代/聴覚障害)
・聴こえないが面白いと思う。サブでPSPとかに活弁○○(?)してほしい。(男性/40代/聴覚障害)
・良いと思います。(女性/40代/聴覚障害)
・良かったと思う。(男性/40代/聴覚障害)
・聴覚障害と視覚障害が同時に映画を見ることが出来る初めての試みだと思ふ。(女性/60代/聴覚障害)
・字幕と共の副音声は大変良かったです。(男性/70代/聴覚障害)
・良かった。ただし、副音声で説明が入りすぎてしまった為、感動がうすれたようです。(女性/20代/ナシ)
・すばらしかったです。バリアフリーのことを忘れて感動しました。(男性/40代/ナシ)
・とても自然です。スーッと耳に入ってきました。(女性/60代/ナシ)
・セリフがない情景の時も解りやすかったです。(女性/50代/ナシ)
・大変自然で良かった。(男性/60代/ナシ)
・活き活きとして新しい映画に思えた。(男性/40代/ナシ)
・叙情がとてもよくわかった。感情が音声に表れていた。(女性/20代/ナシ)
・上手で泣きやすくなる。(女性/40代/ナシ)

・テンポはもう少し工夫してほしい。音楽の場合はやさしいのか強いのかを知りたかった。
・最初に字幕(?)はまぶしかったのでもう少しやさしい目にかえていただくと良いと思う。字幕の切り替えは場面とか役者とか感情によって字幕を出すタイミングを工夫してほしい。台詞の内容でまた声の高さ(大きさ)などによって字幕をゆくり出るかいきなり出るかというような感じがあれはもっと素晴らしい映画になるのではないかな。あくまでも理想です。素晴らしい映画でも、もっと味がある字幕をいただくと嬉しいです。(男性/50代/聴覚障害)
・(わかりやすいが)最初の字の多いところはもう少しゆつと。(女性/40代/ナシ)
・鼻をすする音など不要？と気になってしまったが、ほかはわかりやすくて良かった。(30代/ナシ)
・開始前の字幕が少し消えるタイミングが早く感じたが、それ以外は良かったと思う。(女性/20代/ナシ)
・「ウツ」とか「グス」までの音までは不要か。(男性/60代/ナシ)

副音声 良かった点

・始めから自然な感じで大変わかりやすかった。(男性/50代/視覚障害)
・語りが滑らかで、自然な感じが良かった。(男性/40代/ナシ)
・心情がとてもわかりやすかった。(女性/20代/ナシ)
・聞いていた部分と聞くことがない(意識しない)部分があった。(男性/40代/ナシ)
・はつきりと程よい抑揚で自然に耳に入ってきた。(女性/40代/ナシ)
・情景についてもきちんと説明されているし、台詞の邪魔になることも少なく、細かい説明もあつてわかりやすかった。(女性/20代/ナシ)
・声の調子が変化あり、場の状況をより感じることができた。(女性/30代/ナシ)
・(気になるが見えない人にとっては良い量だと思う。(女性/50代/ナシ)
・最後にはきこえなくなりました。(男性/50代/ナシ)
・山の名前までわかる。(女性/40代/ナシ)
・動作や心情も音声化されていた。(女性/40代/ナシ)
・大変わかりやすかった。(男性/40代/ナシ)
・視覚障害者にとってこのくらい丁寧な副音声があれば、イメージを膨らませやすい。(男性/60代/ナシ)
・音量が少し大きいような気がする。映画の静かさ(良い意味で)が分からない(伝わらない)のでは？(女性/30代/ナシ)
・登場人物の気持ちやよみと助けになりました。ライブ感も良いです。(女性/40代/ナシ)
・声がキレイ。特に自然な情景の描写が良かった。言い間違えと目立つので大変ですね、でもそれも含めて手作り感やあたたかさを感じた。(男性/30代/ナシ)

副音声 気になった点

・オーケストラのオーナーの台詞の前、オーナー一言がいらぬ音とかの所に説明がきているのを後にしてほしい。感動が薄れる。
・サケの通上と死が交錯するはいい。こちらで受けとて考えたい。
・父が小石を握っている場面、そこで「石文」を説明してほしくない。
・自身がろう者のせいもある。全部開けたら良かった。(女性/60代/聴覚障害)

その他 鑑賞して気づいた点

・私のハンディの場合、ここまでバリアフリーにしてくれなくても良いので、できればハンディ別のバリアフリー映画があればよいが、とても良いと思つた。(女性/40代/てんかん/うつ)
・役者の表情と感情のありようが、とてもよく伝わる。弁士のテクニクにフラボ。(男性/50代/視覚障害)
・マイクの音が大きかった。(女性/40代/発達障害)
・よくわかった。(女性/30代/聴覚障害)
・感動した！(男性/50代/聴覚障害)
・よくわかった。(女性/30代/聴覚障害)
・冒頭、雪の中を車が走る時の字幕欲しい。(女性/70代/聴覚障害)
・空席がやや目立ちます。観に行きたいくらいで断念した人たちが気の毒。(40代/聴覚障害)

考現鏡

「今まで、映画館では洋画しか見たことがありません。字幕付きは洋画だけだから、話題作を見られてうれしかった。聴覚に障害がある女性には、こう感想を寄せた。

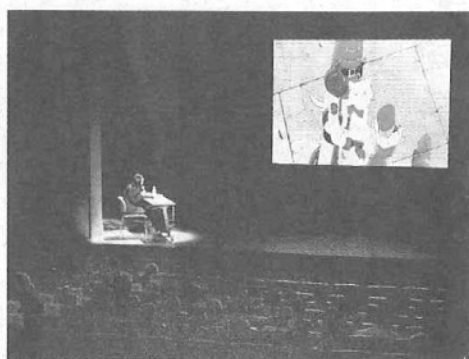
バリアフリー映画

と考えさせられた。今回の上映は「NPO法人全国地域生活支援ネットワーク」の主催で、障害がある人はもちろん、映画プロデューサーや映画監督も上映に知恵を絞った。画面に映し出された場面を細かく説明する字幕だけではなく、原作のせりふにはない登場人物の生き生きとした心情や表情が、活動弁士によって副音声として盛り込まれた。上映会には、盲導犬を連れた人、車いすの人、子どもからお年寄りまで約180人が足を運んだ。スタジ

2010.1.20
南日本新聞

バリアフリー映画楽しむ

鹿児島市 副音声や字幕工夫



視覚、聴覚に障害がある人も一緒に楽しめる字幕、副音声付きのバリアフリー映画が17日、鹿児島市のみなみホールであった。写真。約180人が、登場人物の動きを情

感を含めて解説する副音声や、せりふだけでなく音楽や効果音を説明する字幕付き。バリアフリー映画の制作にかかわった「猫の恩返し」の森田宏幸監督は上映後、「話の内容が分かるように、心地よく読めるように工夫した。新たに生まれ変わった映画のようだと話した。

2010.1.19
南日本新聞

活動弁士さんによる副音声は初めて観る場合、2度目に観る場合などで、その効果価値の受け止め方も違うだろうと思いました。(私は一度目はDVDでふつうに見てストーリーが頭に入っている状態で今日2度目を観た) (女性/40代/聴覚障害)

補聴器だと何を言っているかわからないけど、音は入るので、副音声の音が気になった。何となく雑音に感じるので、イヤホンを使用するなどして音が重ならない方がいいのかな?と。(女性/30代/聴覚障害)

字幕つきおくりびとは2回目になります。何の音楽が字幕が出たり、くだらない話(例:「うっ」とかまであって良かった)です。(女性/30代/聴覚障害)

PC通訳の字幕スクリーンをもう少し上の方へ上げて欲しい。後方に座ったせいかなの人の頭で半分以上見ることができなかった。(女性/60代/聴覚障害)

人生いろいろある考えさせられた映画でした。(男性/70代/聴覚障害)

2008年におくりびとを見ましたがまた違った、おくりびとでした。副音声に着いているので内容が良く解ったのですが、以前見た方が感動したようです。(女性/20代/ナシ)

予想以上になるのか?と心配だったが、セリフの間合いにとてもタイミングよく入り、全く邪魔にならず、すばらしいかった。完成した映画にさらに声をいれても邪魔にならないことがすばらしいかった。(女性/30代/ナシ)

最後の父の死化粧をするところで、「船の汽笛」との字幕はなくてもよいのではと思います。父の顔をもっと見ていた。(女性/40代/ナシ)

ライフ感があってよかった。(女性/50代/ナシ)

「おくりびと」などの描写は一回目観たときは気づかなかったで良かったと思う。(男性/30代/ナシ)

この映画についていえば、説明的でよいが、想像する場がなくなる気がする。(女性/70歳以上/ナシ)

子供や高齢者に良いと思う。(女性/70歳以上/ナシ)

素晴らしい。全体的に。(男性/40代/ナシ)

弁士の言葉も字幕したらオモシロイかも?。(女性/40代/ナシ)

健全な者が聞くともわずらわしい部分もあるが、目を閉じて聞くと情景が良くわかる。(女性/60代/ナシ)

話す役者より字幕がついていておもしろかった。副音声があると映像の場面の意味(意図)が分かり、面白かった。(女性/30代/ナシ)

場面が切り替わる所で、副音声に間がなくて、少しわかりにくい。女性/40代/ナシ

一つの作品を多くの人にうつたけるパワーを感じた。(男性/30代/ナシ)

バリアフリー映画について期待すること意見

・大きい車いす(電動等)が十分入るような案内をお願いします。こういう映画はとも良い試みたと思います。日本中に広まれば良いと思う。

・なるべく多くの作品に同様の副音声をつけてほしい。(男性/50代/視覚障害)

・3Dでもあったらみたいです。(女性/40代/発達障害)

・ほかの映画も副音声つきでみたい。(女性/30代/視覚障害)

・日本映画にこういう機会を増やしてほしい。(女性/20代/聴覚障害)

・邦画(字幕)をもっと増やしてほしいです。機会があれば聴覚者代表として協力したいと思ひ、字幕のタイミングなどを工夫したいと思っています。私は手話弁士になりたいと思っていますので何かありましたらぜひやらせてもらいたい。(男性/50代/聴覚障害)

・いろんな映画が見たいし、DVDが販売されるときは字幕付きが義務となつて欲しい。(40代/聴覚障害)

・これからも期待しています。おつかれさまでした。(男性/20代/聴覚障害)

・今度はラフストーリーでの実現をきたいです。(女性/40代/聴覚障害)

・がんばってください。(男性/40代/聴覚障害)

・このような映画の普及に多いに期待します。(女性/19歳以下/聴覚障害)

・このような企画を増やしてください。(40代/聴覚障害)

・このような企画は大変良いと思う。また企画してほしい。(男性/40代/聴覚障害)

・いつでも観られるようになってほしい。DVD、ブルーレイにも入れてほしい。(男性/40代/聴覚障害)

・今後バリアフリー映画をたくさん作って欲しいです。日本映画がこんなに素晴らしいものだと思ひ、いつも字幕付きの洋画ばかりなので。(女性/60代/聴覚障害)

・いろいろな映画をバリアフリー映画として上映する機会を増やしてほしい。(女性/19歳以下/聴覚障害)

・松竹映画をすべて日本語字幕をつけて下さい。様々よくお願いします。(男性/50代/聴覚障害)

・今後障害者のために頑張ってください。(男性/70代/聴覚障害)

・昨年「ゆずり葉」スノープリンス(日本語字幕)を見ましたが、これからもバリアフリー映画を増やしてください。(女性/20代/ナシ)

・多くの映画がバリアフリー映画になり、それがあたりまえになって欲しいです。(女性/60代/聴覚障害)

・今後このような志向映画がたくさんあれば、万人が楽しめると思います。(女性/50代/ナシ)

・これからも続くようにお願いします。(男性/40代/ナシ)

・良かったですが、自分の感じ方ができない。(女性/40代/ナシ)

・素晴らしい内容の映画なので、見えない、聴こえないことによる制限を受けずに多くの人が鑑賞できることは良いことだ。(男性/40代/ナシ)

・このような上映の機会が増えれば、障害のある方も映画を楽しむ機会が増えてよいと思う。(女性/40代/ナシ)

・やはり音楽や効果音を伝えきれないのが、残念です。骨伝導を利用した音響システムが普及すると良いと思います。(女性/20代/ナシ)

・障害のある方がより楽しめる社会になること、新たな映画の作り方への道が広がること。(女性/30代/ナシ)

・もっと多く作れると良いですね。自然に見られるくらいに。(男性/50代/ナシ)

・今まで見たこともなかった方々に映画の素晴らしさを広めていただくと良いと思います。地方の劇場でも出前もいかがでしょうか。(女性/60代/ナシ)

・障害のある人ない人が同時に観るのであれば、演じる前の副音声(数秒前)は良い方がよいと思ひました。できるだけ同時がいい。(男性/30代/ナシ)

・この様な作風が確立したら面白いとおもいます。(60代/ナシ)

・とてもよかったです。いろいろなジャンルの映画も試みて欲しいとおもいます。(女性/60代/ナシ)

・これから大きく展開してほしいとおもいます。(男性/40代/ナシ)

・数をもっと増やして欲しい。(30代/ナシ)

・より多くの方に観てもらえるといいですね。(女性/40代/ナシ)

・大変期待しています。(女性/60代/ナシ)

・まず量を増やすことを期待したい。(男性/60代/ナシ)

・活動が広まることを期待します。(女性/40代/ナシ)

・今後多くの作品が上映されると良い。(男性/50代/ナシ)

・海外の映画でも同様に増やしてください。いつか映画館で選べる日がくればいいですね。DVDなどでもっと普及させてください。(女性/30代/ナシ)

バリアフリー映画の上映案内

バリアフリー研究会で研究・開発しました、活弁による副音声付視覚障害者用映画、および聴覚障害者用の日本語字幕つき映画の上映を受け付けます。今年度対象作品、『おくりびと』『ニセ札』と、昨年度対象作品、『THE CODE／暗号』『ぐるりのこと。』『絵の中のぼくの村』『花はどこへいった』の各作品の上映を希望される方は、下記要領にて、事務局までお申し込みください。よろしくお願いいたします。

●上映料金について

作品：「ニセ札」「THE CODE/暗号」「絵の中のぼくの村」「花はどこへいった」

- 有料上映会の場合 入場者(鑑賞者) 1人600円×人数
 - ・入場者数200人以下の場合、最低保証として上映日1日あたり12万円(消費税別途)
 - ・入場料は、1人1,000円以上の設定をお願いいたします。
- 入場料を取らない借り上げによる上映会(フラット)
 - 入場者数 200人未満：12万円／200～300人：16万円／300～500人：24万円 (いずれも消費税別途)
 - 500人以上での上映会の場合は、ご相談ください。

作品：「おくりびと」「ぐるりのこと。」

- 有料上映会の場合 入場者(鑑賞者) 1人750円×人数
 - ・入場者数200人以下の場合、最低保証として上映日1日あたり15万円(消費税別途)
 - ・入場料は、1人1,000円以上の設定をお願いいたします。
- 入場料を取らない借り上げによる上映会(フラット)
 - 入場者数 200人未満：15万円／200～300人：19万円／300～500人：24万円 (いずれも消費税別途)
 - 500人以上での上映会の場合は、ご相談ください。

*各映画作品のチラシ、ポスター、パンフレットなども用意しております。

●申し込み方法について

申し込み欄に必要事項をご記入の上、FAXまたはメール、もしくは郵送にて事務局までお申し込みください。
なお、劇場公開中の地域、および劇場公開予定の地域での貸出は、日程などを調整させていただく場合がございます。

●上映用テープ、DVDの受け渡し

特に指定のない場合、上映の2日前までに当方からお送りいたします。上映が済みましたら、速やかに事務局までご返送ください。
なお、返送時の送料は主催者側の負担となります。なお、上映用プロジェクターなどの上映機材や上映技師などにつきましても、お気軽にご相談ください。別途料金となりますが、当方にて対応させていただきます。

●上映報告書を提出ください

上映が済みましたら、上映報告書をFAXまたは郵送にてお送りください。上映報告の用紙は上映受付後に当方よりお送りいたします。

●精算及び、支払いについて

上映終了後、映画作品の上映料を当方よりご請求いたします。宣材物などの請求も特に指定のない場合は映画上映料と一緒にのご請求となります。請求書と同封の郵便振替用紙でご送金いただくか、当方指定の銀行口座への振込みによるお支払いをお願いいたします。

●アンケート調査へのご協力のお願い

上映会に参加された方々への、アンケート調査をお願いしております。必要な枚数のアンケート用紙をお送りしますので、上映会場にて回収後上映報告書とともにお送りいただきますよう、よろしくお願いいたします。

■上映申し込み先(ご不明な点なども、下記までご連絡ください。)

特定非営利活動法人 全国地域生活支援ネットワーク【事務局】〒891-1201 鹿児島市岡之原町1005
tel 099-822-8705 fax 099-822-4073 / E-mail shien-net@crest.ocn.ne.jp

『	』上映申込書				お申込日	年	月	日 (NO.	※事務局)
●主催者 (ご担当者)		●主催団体							
●住 所									
●TEL		●FAX			●メールアドレス				
●上映日		第一希望		月		日 (		)	
		第二希望		月		日 (		)	
●上映会場		●上映時間			●計			回上映	
備 考 (希望作品名を明記ください)									

発行 平成21年度障害者保健福祉推進事業(障害者自立支援調査研究プロジェクト)
発行日 2010年3月31日
編集 高石巧
デザイン 高石巧
発行 千891-1201 鹿児島市岡之原町1005 TEL 099-822-8705 FAX 099-822-4073 E-mail shien-net@crest.ocn.ne.jp
特定非営利活動法人 全国地域生活支援ネットワーク 代表理事 田中正博

氏名	所 属
赤松龍太	(パッソパッソ・字幕制作会社代表)
浅川智恵子	(日本IBM東京基礎研究所アクセシビリティリサーチ担当)
井野秀一	(独立行政法人産業技術総合研究所 主任研究員)
飯泉菜穂子	(学校法人大東学園世田谷福祉専門学校)
大河内直之	(東京大学先端科学技術研究センター リサーチフェロー)
大和田廣樹	(株式会社ドリームキッド代表取締役社長)
岡山慶子	(ペーパミント・ウェーブ実行委員長)
片桐公彦	(全国地域生活支援ネットワーク)
北岡賢剛	(全国地域生活支援ネットワーク)
佐々木亜希子	(活動弁士)
高木啓伸	(日本IBM東京基礎研究所アクセシビリティリサーチ担当)
田中正博	(全国地域生活支援ネットワーク)
水流源彦	(全国地域生活支援ネットワーク)
中島佐和子	(東京大学インテリジェント・モデリング・ラボラトリー 特任研究員)
中野聡子	(東京大学先端科学技術研究センター)
堀田賢豪	(社)日本広報協会 調査・企画部)
山上徹二郎	(映画製作・配給会社シグロ代表 日本映画製作者協会理事)
山添時彦	(佐々木亜希子マネージャー)

平成21年度障害者保健福祉推進事業(障害者自立支援調査研究プロジェクト)
「バリアフリー」による新しい映画鑑賞の技術開発研究事業」
研究員名簿 (五十音順)

平成21年度障害者保健福祉推進事業
(障害者自立支援調査研究プロジェクト)
「バリアフリーによる新しい映画鑑賞の技術開発研究事業」